

懐風館高校 令和5年度第3回学校運営協議会 議事録

1 日 時 令和6年2月16日(金) 14:00~16:00

2 出席委員 6名

大関会長 黒木委員 松村委員 阪本委員 横尾委員 井上委員

3 報告及び協議記録 □・・・学校運営協議会委員 ▲・・・事務局

<令和5年度「学校経営計画」達成状況>

<令和6年度「学校経営計画」(案)>

▲校長より

令和5年度の「学校経営計画」達成状況について、目標値等を大きく上回った項目は3、目標値等を達成した項目は13、目標値等に届かなかった項目は4という結果であった。「校内研修は教育実践に役立つような内容となっている」教員の肯定率、「気軽に相談できる先生がいる」生徒の肯定率、「悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い」生徒の肯定率が目標値を大きく上回った。「ICTを活用し、わかりやすい授業をめざしている」教員の肯定率、「挨拶をする」生徒の肯定率は若干目標値に達しなかった。遅刻者数は残念ながら昨年度より増加した。また、学校教育自己診断では、「各分掌や学年間の連携が円滑に行われ有機的に機能している」(教員)、「授業でわからないことを先生に質問しやすい」(生徒)、「文化祭・体育祭・修学旅行・遠足等は楽しく行えるように工夫されている」(保護者)の肯定率が大きく伸びており、全般的に見て、「面倒見のいい学校」への取り組みの一定の結果が出ているかと思う。一方で、遅刻や挨拶など基本的な生活習慣の確立に向けた継続的な粘り強い取り組みが今後必要と考えている。

令和6年度「学校経営計画」(案)については、めざす学校像に「羽曳野市唯一の高等学校」という文言を、中期的目標に「基本的な生活習慣を確立する生徒指導」の取り組みを追加し、本校のあり方をより明確に示した。

□生徒が先生に悩みなどを相談しやすく、学習でわからないことを質問しやすい状況が作られていることは高く評価できる。多様な課題を抱えている生徒を支援するために今後も教育相談体制の充実を図りたい。

□挨拶は社会人のマナーとして、また、コミュニケーションの第一歩として大切なものである。コロナによるマスク着用の弊害かもしれないが、互いの表情を見て声を出して挨拶する中高生が減っているように思う。今後もしつかり指導を続けてもらいたい。

□学校の大きな課題は志願者数の確保であるが、中学校の卒業生数が年々減少し、私学を選択する生徒が増えている厳しい現状がある。学校の魅力を伝える広報が大切だが、今

の中学生や保護者が高校を選択する際のツールとして SNS を活用している。私学や一部の公立高校ではインスタグラムなどを使って学校の情報を発信している。学校のホームページも大切だが、視覚にダイレクトに訴える SNS での広報はかなり効果があるので活用を考えてみては。

- 多様な生徒が入学する中、基礎学力が必要な層と発展的な学習に取り組む層の両方に対する補習や講習などの手立てを行い、より面倒見のいい学校となることを望む。